

水道環境課

会計区分	01	一般会計		令和 4 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	10010000	水道環境課・環境係			
大 事 業 C D	02	(目標)		-				中 事 業 C D	02	(施策)		-				
		(政策)								(主要な取り組み)						
小 事 業 C D	01	自然環境保全事業					事業年度	R03 ～ R12		成果目標	■ 成果目標がある		成果指標	特定外来生物の駆除（防除）の実施		
款項目	04	衛生費	01	保健衛生費	06	環境衛生総務費	小事業区分	新規・継続			□ 成果目標がない		目標値	4	目標年度	令和 2年度

(単位：千円)

	R O 4 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(03 年度) 当初予算額	02年度 決算額
○ 経 費 計	6,028	特定外来生物であるアルゼンチンアリの生息が確認されている酒倉（池端・中組・茶屋・雲埜北）、取組（取組第4）の住民・事業所に対して防除剤を配布するとともに、アルゼンチンアリの生息状況等の調査を委託にて実施する。	4,624	3,185
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費	1,441		1,214	1,127
1 消耗品費	1,441		1,214	1,127
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料	4,587		3,410	2,058
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	6,028	基準額・補助率・歳入科目コード等	4,624	
1 国庫支出金				
2 県支出金	3,013	清流の国ぎふ森林・環境基金事業補助金	4,624	
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	3,015			

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★7次総 4101】（環境・景観）「自然環境を保全するための意識啓発及び活動の推進」	
町内で特定外来生物に指定されているオオキンケイギクの繁殖と、アルゼンチンアリの生息が確認されており、地域固有の自然資源や生態系を脅かしている。周辺の自然環境に興味・関心を持ち、町固有の資源や景観を守る意識を高めていく。 自然環境が坂祝町にもたらす多面的な効果を理解し、自然環境を守るための意識啓発や環境保全活動を進める。	
事業の概要	
オオキンケイギク、アルゼンチンアリをはじめとする特定外来生物の駆除により、地域固有の在来種の保全を進める。	
事業の実績	
令和4年度 オオキンケイギク駆除作戦 参加者約180人 / 4年度目標 100人 令和3年度 オオキンケイギク駆除作戦 参加者約50人 / 3年度目標 100人 令和2年度 オオキンケイギク駆除作戦 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 令和元年度 オオキンケイギク駆除作戦 参加者約270人 / 元年度目標 250人 平成30年度 オオキンケイギク駆除作戦 参加者約240人 / 30年度目標 250人 平成29年度 オオキンケイギク駆除作戦 参加者約250人 / 29年度目標 250人	
事業の成果指標	
地域住民、事業所、ボランティアと協力した特定外来生物の駆除（防除）の実施回数	事業の目標値
	単位 回/年度
	R04 年度末 4
	R05 年度末 4
	R06 年度末 4
R04年度の到達目標（課題・改善策等）	
オオキンケイギク駆除を継続的に実施し、自然環境を守るための意識啓発や環境保全活動を進める。 アルゼンチンアリの防除を地域住民の協力のもと、継続的に実施する。	

事務事業評価の結果（1次）	B	R04年度の計画額	6,028	千円
事務事業評価の結果（2次）	A	R04年度の上限額	6,028	千円
<特記事項> アルゼンチンアリ駆除のためのベイトザイ散布を3回実施、オオキンケイギク駆除1回実施し目標値は達成できたが、オオキンケイギクについては、毎年実績によりかなり減少してきたが、アルゼンチンアリについては、生息区域が拡大しており、今後は駆除に関する住民説明会等も検討し効果的な対策を検討したい。				

【評価】 A拡充・重点化 B計画の承認 C見直し・縮小 D整理・統合 E休止・廃止 一評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 4 年度 事務事業調書							事業主体	10010000	水道環境課・環境係		
大事業 C D	02	(目標)		—				中事業 C D	11	(施策)		—			
		(政策)		—						(主要な取り組み)		—			
小事業 C D	01	生ごみ堆肥化推進事業				事業年度	R03 ~ R12			成果目標	☐ 成果目標がある		成果指標	—	
款項目	04	衛生費	02	清掃費	02	ごみ処理費	小事業区分	新規・継続	☒ 成果目標がない		目標値	—		目標年度	—

(単位：千円)

	R O 4 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(03 年度) 当初予算額	02年度 決算額
○ 経 費 計	178	電気式生ごみ処理機、コンポスト、枝葉粉碎機を購入した者に対して補助金の交付を行う。	178	178
1 報酬				
2 〜4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費				
1 消耗品費				
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料				
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交	178		178	178
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	178	基準額・補助率・歳入科目コード等	178	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	178		178	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★ 7 次総 4201】（廃棄物対策）「ごみ減量化の推進」	
可燃ごみの多くを占める生ごみの減量化に向け、電気式生ごみ処理機・コンポストの活用を促進する。また、野焼きを防止するため、伐採によって発生する樹木等を細かく粉碎する、枝葉粉碎機の活用を促進する。	
事業の概要	
電気式生ごみ処理機、コンポスト、枝葉粉碎機の購入補助を行う。 補助制度を継続してきているが、補助制度の活用が少ないため、補助制度を啓発し、積極的な補助制度の活用を促進する。	
事業の実績	
令和 3 年度 22件	可燃ごみ排出量 実績469 g /日あたり
令和 2 年度 19件	可燃ごみ排出量 実績453 g /日あたり
令和元年度 6件	可燃ごみ排出量 実績433 g /日あたり
平成30年度 4件	可燃ごみ排出量 実績417 g /日あたり
平成29年度 2件	可燃ごみ排出量 実績414 g /日あたり
平成28年度 4件	可燃ごみ排出量 実績408 g /日あたり
平成27年度 8件	可燃ごみ排出量 実績408 g /日あたり
事業の成果指標	事業の目標値
	単位
	R04 年度末
	R05 年度末
	R06 年度末
R04 年度の到達目標(課題・改善策等)	
継続的に補助制度の活用促進を図る。	

事務事業評価の結果（1 次）	B	R04 年度の計画額	178 千円
事務事業評価の結果（2 次）	B	R04 年度の上限額	178 千円
<特記事項> 今後も家庭廃棄物処理機器設置補助金を P R し、生ゴミ等の再利用を促進し、ごみの減量化への意識啓発を行いたい。			

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 4 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	10010000	水道環境課・環境係		
大事業 C D	02	(目標)	—					中事業 C D	13	(施策)	—				
		(政策)	—							(主要な取り組み)	—				
小事業 C D	01	資源物収集事業					事業年度	R03 ~ R12	成果目標	☐ 成果目標がある	成果指標	—			
款項目	04	衛生費	02	清掃費	02	ごみ処理費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない	目標値	—		目標年度	—

(単位：千円)													
	R O 4 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等					前年度(03 年度) 当初予算額	02年度 決算額					
○ 経 費 計	3, 168	資源物 (ペットボトル・白色 (食品) トレイ・蛍光灯・水銀式					3, 137	3, 068					
1 報酬		体温計・飲料用紙/バック容器・廃食用油・廃乾電池) を収集場											
2 ～4給料手当等		所にて収集する際の立会いを、町シルバー人材センターに委託											
5 災害補償費		する。											
7 報償費		また、収集した資源物を、収集場所から収集運搬する作業を、											
8 旅費		一般廃棄物収集運搬業者に委託する。											
9 交際費													
10 需用費	117						114	64					
1 消耗品費	5						7						
2 燃料費	112						107	64					
3 食糧費													
4 印刷製本費													
5 光熱水費													
6 修繕料													
その他													
11 役務費													
12 委託料	3, 051						3, 023	3, 004					
13 使賃料													
14 工事請負費													
15 原材料費													
16 公財購													
17 備品購入費													
18 負補交													
19 扶助費													
20 貸付金													
21 補てん賠													
22 償利割													
23 投資出資金													
24 積立金													
25 寄附金													
26 公課費													
27 繰出金													

○ 財 源 計	3, 168	基準額・補助率・歳入科目コード等	3, 137	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財	77		128	
5 一般財源	3, 091		3, 009	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★ 7 次総 4203】（廃棄物対策）「リサイクルの推進」	
循環型社会の形成のため、可能な限りリサイクルするよう啓発するとともに、リサイクルしやすい環境づくりを推進する。	
事業の概要	
資源物（ペットボトル・その他プラ・白色食品トレイ・蛍光灯・水銀式体温計・飲料用紙パック容器・廃食用油・廃乾電池）を収集しリサイクルする。	
事業の実績	
令和4年度 町の資源物回収量 実績 t／ 資源物収集12回実施	
令和3年度 町の資源物回収量 実績6.34t／ 資源物収集12回実施	
令和2年度 町の資源物回収量 実績6.42t／ 資源物収集12回実施	
令和元年度 町の資源物回収量 実績5.98t／ 資源物収集12回実施	
※令和元～2年度ペットボトルの品質検査により『Aランク』の判定。	
事業の成果指標	事業の目標値
	単位
	R04 年度末
	R05 年度末
	R06 年度末
R04 年度の到達目標（課題・改善策等）	
引き続き、資源物の適正処理を指導啓発する	

事務事業評価の結果 (1 次)	—	R04 年度の計画額	3, 168	千円
事務事業評価の結果 (2 次)	—	R04 年度の上限額	3, 168	千円
<特記事項>				
年12回、13か所で実施する資源物収集の収集所 (各自治会公民館) において、立会指導をシルバー人材センターへ委託し、資源物を出すマナーが徹底でき、リサイクルしやすい環境づくりを実施した。実績としては、下記の蛍光管、ペットボトル、トレイ、紙バック、廃食油を参照してください。				
【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 一評価なし				

会計区分	01	一般会計		令和 4 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	10010000	水道環境課・環境係		
大 事 業 C D	02	(目標)		—				中 事 業 C D	13	(施策)		—			
		(政策)		—						(主要な取り組み)		—			
小 事 業 C D	02	ごみ資源化推進事業					事業年度	R03 ~ R12	成果目標	☐ 成果目標がある		成果指標	—		
款項目	04	衛生費	02	清掃費	02	ごみ処理費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない		目標値	—		目標年度

(単位：千円)

	R O 4 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(03 年度) 当初予算額	02年度 決算額
○ 経 費 計	225	資源物（新聞紙・雑誌・チラシ・ダンボール・牛乳パック・古着・アルミ缶）を回収した団体（子ども会等）に対して、その回収量に応じて奨励金を交付する。	425	66
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費				
1 消耗品費				
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費		【主要施策4203】		
12 委託料		資源集団回収は、R3年度18件、R4年年度16件の実績となっている。		
13 使賃料		R2年度から新型コロナウイルス感染症対策により自粛団体が		
14 工事請負費		増加しており、回収量は下がっている。そのためR3年度から新		
15 原材料費		たに、希望団体については、開催日をスグール等でメール配信		
16 公財購		を行いP R している。今後は、新型コロナウイルスの状況を注		
17 備品購入費		視しながら、休止団体への呼びかけを行い、資源回収実施団体		
18 負補交	225	を増やしたい。	425	66
19 扶助費		また、坂祝町一般廃棄物処理基本計画に基づきプラスチック類		
20 貸付金		の回収も検討し、リサイクル可能な資源物回収促進を推進し、		
21 補てん賠		ごみの減量化を進めたい。		
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	225	基準額・補助率・歳入科目コード等	425	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	225		425	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）		
【★7次総 4203】（廃棄物対策）「リサイクルの推進」		
リサイクルできる資源の収集量に応じて奨励金を支出するなどを行い、一層の資源物回収量の増加を図る。		
【補足説明】 循環型社会の構築のためには、資源の有効活用とリサイクル意識を高めることが必要であり、廃食油回収事業や資源集団回収事業に対する奨励金交付するにより、環境保全に対する町民意識の高揚につながる。		
事業の概要		
増え続けるごみの量にストップをかけるとともに、資源として有効に利用できるごみの再生利用と、資源の大切さを認識していただくために、資源として再利用できるもののうち、新聞紙・雑誌・チラシ・ダンボール・牛乳パック・古着・アルミ缶を集団回収している団体に対し、その回収量に応じて奨励金を交付する。 回覧等で収集日などを周知することで、回収量を増やす。		
事業の実績		
令和4年度	資源回収の収集量	19 t
令和3年度	資源回収の収集量	22 t
令和2年度	資源回収の収集量	14 t
令和元年度	資源回収の収集量	77 t
平成30年度	資源回収の収集量	85 t
平成29年度	資源回収の収集量	96 t
平成28年度	資源回収の収集量	96 t
平成27年度	資源回収の収集量	134 t
事業の成果指標		事業の目標値
		単位
		R04 年度末
		R05 年度末
		R06 年度末
R04 年度の到達目標（課題・改善策等）		
資源集団回収による、回収量が減少傾向にある一方、民間企業等において資源物の回収できる環境が増加しているが、資源の適正な処理につながるものとなっていない。今後、資源の適正な処理について啓発していく。		

事務事業評価の結果（1 次）	A	R04 年度の計画額	225	千円
事務事業評価の結果（2 次）	A	R04 年度の上限額	225	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 ー 評価なし

会計区分		01		一般会計				令和 4 年 度 事 務 事 業 調 書										事業主体		10010000		水道環境課・環境係			
大事業 C D		02		(目標)		－				中事業 C D		14		(施策)		－									
				(政策)		－								(主要な取り組み)		－									
小事業 C D		01		環境教育事業				事業年度		R03 ～ R12		成果目標		☐ 成果目標がある ☒ 成果目標がない		成果指標		－							
款項目		04		衛生費		01		保健衛生費		06						環境衛生総務費		小事業区分		新規・継続		目標値		－	

(単位：千円)

R04年度 予算要求額		当該年度の事業詳細等	前年度(03年度) 当初予算額	02年度 決算額
○ 経費 計	45	ごみ処理の現状を知ってもらい、ごみの分別・減量化及びリサイクルを推進するため、夏休みに、町中央公民館主催行事として、ささゆりクリーンパークの見学、ささゆりクリーンパークから講師を招いての講座を実施する。	45	15
1 報酬				
2 〜4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費				
1 消耗品費				
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料				
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交	45			
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財源 計	45	基準額・補助率・歳入科目コード等	45	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財	9		9	
5 一般財源	36		36	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）		
【★7次総 4204】（廃棄物対策）「環境教育の推進」		
多くの住民にささゆりクリーンパークを見学してもらい、ごみ処理の現状を知ってもらうとともに、更なるごみ減量と3Rを推進する。		
事業の概要		
ささゆり見学及び講座を実施して住民にごみ処理の現状を知ってもらい、ごみの分別・減量化及びリサイクルを推進する。		
事業の実績		
令和4年度	工作教室	38名参加
令和3年度	工作教室	22名参加
令和2年度	工作教室	18名参加
令和元年度	工作教室	30名参加
平成30年度	清掃工場の見学及び工作教室	20名参加
平成29年度	清掃工場の見学及び工作教室	20名参加
平成28年度	清掃工場の見学及び工作教室	39名参加
平成27年度	清掃工場の見学及び工作教室	42名参加
事業の成果指標		事業の目標値
		単位
		R04年度末
		R05年度末
		R06年度末
R04年度の到達目標（課題・改善策等）		
見学と身近なリサイクル品で体験講座を行うことで、ごみの減量と3Rを推進していく。		

事務事業評価の結果(1次)	B	R04年度の計画額	45	千円
事務事業評価の結果(2次)	B	R04年度の上限額	45	千円
<特記事項> ささゆりクリーンパークから講師を招いて、小学生とその保護者に対し、環境教育、ガラス細工の工作を実施。今後もごみ処理についての理解を深めてもらうため継続的に実施				

【評価】 A拡充・重点化 B計画の承認 C見直し・縮小 D整理・統合 E休止・廃止 一評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 4 年度 事務事業調書						事業主体	10010000	水道環境課・環境係		
大事業 C D	02	(目標)		—				中事業 C D	15	(施策)		—		
		(政策)		—						(主要な取り組み)		—		
小事業 C D	01	環境負荷低減事業				事業年度	R03 ～ R12			成果目標	☐ 成果目標がある		成果指標	—
款項目	04	衛生費	01	保健衛生費	06	環境衛生総務費	小事業区分	新規・継続	☒ 成果目標がない		目標値	—	目標年度	—

(単位：千円)

	R O 4 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(03 年度) 当初予算額	02年度 決算額
○ 経 費 計	0	今まで、グリーンカーテン啓発事業として、住民にゴーヤ苗を配布していたが、グリーンカーテン啓発事業を廃止し、その代わりとなる事業を検討する。	0	0
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費				
1 消耗品費				
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料				
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	0	基準額・補助率・歳入科目コード等	0	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源				

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★ 7 次 総 4205】（廃棄物対策）「環境の負荷の低減に向けた取り組み」			
庁内の物品購入にあたって、グリーン購入（エコ商品の購入）を推進する。また、施設の整備や改修にあたっては、環境への負荷の低減に配慮した整備を行うなど公共施設へのクリーンエネルギーの導入を検討する。緑のカーテンを推進することにより、節電とCO2削減の意識を高める。			
事業の概要		消耗品等の購入時にグリーン購入を推進する。予算作成時にグリーン購入（エコ商品の購入）を推進して、庁内での消耗品等の購入に反映させるようPRする。住民に苗を配布して緑のカーテンを設置してもらい、節電とCO2削減を推進する。	
事業の実績		令和元年度 ゴーヤの苗配布（125本）、ゴーヤの種配布（300組） 平成30年度 ゴーヤの種配布（300組） 平成29年度 ゴーヤの苗配布（1,000本） 平成28年度 ゴーヤの苗配布（1,000本）	
事業の成果指標		事業の目標値	
		単 位	
		R04 年度末	
		R05 年度末	
		R06 年度末	
R04 年度の到達目標（課題・改善策等）			
令和2年度に、グリーンカーテン啓発を中止し、令和3年度以降、苗、種等の購入を行わない。今後、別の方法を検討する。			

事務事業評価の結果（1 次）	—	R04 年度の計画額	0	千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R04 年度の上限額	0	千円
<特記事項> ゴーヤの種配布については令和2年度から事業廃止、現在は代替え事業を検討中				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 4 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	10010000	水道環境課・環境係		
大事業 C D	02	(目標)		-				中事業 C D	16	(施策)		-			
		(政策)								(主要な取り組み)					
小事業 C D	01	公害対策経費					事業年度	R03 ~ R12	成果目標	■ 成果目標がある		成果指標	公害苦情受付件数		
款項目	04	衛生費	01	保健衛生費	08	公害対策費	小事業区分	新規・継続		□ 成果目標がない		目標値	3	目標年度	令和 2年度

(単位：千円)

	R O 4 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(03 年度) 当初予算額	02年度 決算額
○ 経 費 計	616	年2回、木曽川支流の河川8箇所の水質検査を委託にて実施する。	656	485
1 報酬		。公害発生時又は疑いの生じた時は、水質、騒音、振動、悪臭等の監視・測定を実施するとともに、事業所への立入調査や指導を行う。		
2 〜4給料手当等		油流出事故に備え、オイル吸着材を購入する。		
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費			40	
1 消耗品費			40	
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料	611		611	480
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交	5		5	5
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	616	基準額・補助率・歳入科目コード等	656	
1 国庫支出金				
2 県支出金	34		34	
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	582		622	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★7次総 4206】（廃棄物対策）「公害調査の実施」	
公害の防止に向けた取り組みを進め、坂祝町で暮らす住民、事業活動を行う企業、行政などが相互に協力し合って、地域の住み良い環境の維持に向けて意識を高める。	
事業の概要	
河川の水質検査を実施し、水質の改善を図る。 広報や回覧を通じて野焼き等の注意喚起を行う。 水質、騒音、振動、悪臭などの監視・測定を実施するとともに、事業所への立入調査や指導を行い公害の未然防止に努める。	
事業の実績	
令和3年度実績（実績 河川の水質基準超過数：0箇所 / 令和3年度目標：0箇所） 河川の水質検査 8ヶ所 2回 井戸水の検査 0回	
令和2年度実績（実績 河川の水質基準超過数：0箇所 / 令和2年度目標：0箇所） 河川の水質検査 8ヶ所 2回 井戸水の検査 0回	
事業の成果指標	事業の目標値
公害に関する苦情の受付件数	単位 件/年度
	R04 年度末 6
	R05 年度末 6
	R06 年度末 6
R04 年度の到達目標(課題・改善策等)	
定期的に環境の調査等を行い、地域の住み良い環境の維持を図る。	

事務事業評価の結果(1 次)	B	R04 年度の計画額	616	千円
事務事業評価の結果(2 次)	B	R04 年度の上限額	616	千円
<特記事項> 今後も広報誌等を活用した啓発活動を行いながら意識啓発を行いたい。また、定期的な水質検査等も実施し、悪質な事例については、県と連携を図りながら事業所への立入調査や指導を実施する。				

【評価】 A拡充・重点化 B計画の承認 C見直し・縮小 D整理・統合 E休止・廃止 ー評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 4 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	10010000	水道環境課・環境係		
大事業 C D	02	(目標)		—				中事業 C D	17	(施策)		—			
		(政策)		—						(主要な取り組み)		—			
小事業 C D	01	畜犬登録経費					事業年度	R03 ~ R12	成果目標	☐ 成果目標がある		成果指標	—		
款項目	04	衛生費	01	保健衛生費	06	環境衛生総務費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない		目標値	—	目標年度	—

(単位：千円)													
	R 0 4 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等					前年度(03 年度) 当初予算額	02年度 決算額					
○ 経 費 計	833	飼い犬の登録の手続きを行うとともに、犬の飼育が適切にされるよう啓発・指導を行う。					170	82					
1 報酬		4月に狂犬病集合予防注射を実施するとともに、狂犬病予防注射が適切に接種されるよう啓発・指導を行う。											
2 ～4給料手当等													
5 災害補償費													
7 報償費													
8 旅費													
9 交際費													
10 需用費	40						40	37					
1 消耗品費	40						40	37					
2 燃料費													
3 食糧費													
4 印刷製本費													
5 光熱水費													
6 修繕料													
その他													
11 役務費	51						53	45					
12 委託料	742						77						
13 使賃料													
14 工事請負費													
15 原材料費													
16 公財購													
17 備品購入費													
18 負補交													
19 扶助費													
20 貸付金													
21 補てん賠													
22 償利割													
23 投資出資金													
24 積立金													
25 寄附金													
26 公課費													
27 繰出金													

○ 財 源 計	833	基準額・補助率・歳入科目コード等					170	
1 国庫支出金								
2 県支出金								
3 町債								
4 その他特財	351						170	
5 一般財源	482							

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）													
【★ 7 次 総 4207】（廃棄物対策）「家庭や地域における環境マナーの定着」													
ペットの飼い方についてマナーの向上。狂犬病予防注射の接種率の向上を図る。													
事業の概要													
飼い犬の登録、狂犬病予防注射を実施する。 看板、回覧等で狂犬病予防注射接種や飼いかたのマナー向上の啓発を実施する。													
事業の実績													
令和 4 年度 狂犬病予防注射実施 匹 ※年度末登録頭数455匹 令和 3 年度 狂犬病予防注射実施 391匹 ※年度末登録頭数449匹 令和 2 年度 狂犬病予防注射実施 401匹 ※年度末登録頭数452匹 令和元年度 狂犬病予防注射実施 403匹 ※年度末登録頭数448匹 平成30年度 狂犬病予防注射実施 421匹 ※年度末登録頭数482匹 平成29年度 狂犬病予防注射実施 432匹 ※年度末登録頭数493匹 平成28年度 狂犬病予防注射実施 425匹 ※年度末登録頭数507匹 平成27年度 狂犬病予防注射実施 415匹 ※年度末登録頭数522匹													
事業の成果指標													
事業の目標値													
単位													
R04 年度末													
R05 年度末													
R06 年度末													
R04 年度の到達目標（課題・改善策等）													
ペットの飼い方についてマナーの向上。狂犬病予防注射の接種率の向上を図る。													

事務事業評価の結果（1 次）	—	R04 年度の計画額	833	千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R04 年度の上限額	833	千円
<特記事項> ペットの飼い方のマナー向上のため広報による P R を年1回実施、狂犬病予防法に基づき、飼い犬登録や狂犬病予防注射接種を実施。野良猫への餌付け等による糞尿、鳴き声等の苦情が多発しているため、今後も関わり方についての P R を続けていきたい。				
【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 一評価なし				

会計区分	01	一般会計		令和 4 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	10010000	水道環境課・環境係		
大 事 業 C D	02	(目標)	—					中 事 業 C D	17	(施策)	—				
		(政策)	—							(主要な取り組み)	—				
小 事 業 C D	02	不法投棄防止事業					事業年度	R03 ～ R12	成果目標	☐ 成果目標がある	成果指標	—			
款 項 目	04	衛生費	02	清掃費	02	ごみ処理費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない	目標値	—		目標年度	—

(単位：千円)

	R O 4 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(03 年度) 当初予算額	02年度 決算額
○ 経 費 計	1,957	町内を巡回パトロールし、不法投棄多発場所への看板の設置、不法投棄ごみを早期回収する等の作業を、町シルバー人材センターに委託する。	1,901	1,861
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費		また、広報誌や回覧、看板設置などを通じて、住民・不法投棄者に啓発・警告していくとともに、警察と連携し不法投棄者の特定する。		
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費	177		177	138
1 消耗品費	5		17	17
2 燃料費	172		160	121
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料	1,780		1,724	1,723
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	1,957	基準額・補助率・歳入科目コード等	1,901	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	1,957		1,901	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★7次総 4207】（廃棄物対策）「家庭や地域における環境マナーの定着」 幹線道路沿いなどでは、空き缶やペットボトルなどのごみのポイ捨てが依然としてみられる。 また、ごみ収集所などへのごみの放置やごみの不法投棄なども後を絶たない。ごみのない清潔できれいなまちづくりのためには、良好な環境づくりに関する意識啓発を、全町民に向けて行っていく。			
事業の概要		町内を巡回パトロールし、不法投棄ごみを早期回収する。 広報誌や回覧、看板設置などを通じて、住民・不法投棄者に啓発・警告していく。 不法投棄多発場所に看板を設置するとともに、警察と連携し不法投棄者の特定する。	
事業の実績		不法投棄巡回パトロールを週3回実施することで、不法投棄の早期発見、良好な環境づくりに貢献している。	
事業の成果指標		事業の目標値	
		単 位	
		R04 年度末	
		R05 年度末	
		R06 年度末	
R04 年度の到達目標（課題・改善策等） 町内を巡回パトロールし、不法投棄ごみを早期回収する。 広報誌や回覧、看板設置などを通じて、住民・不法投棄者に啓発・警告していく。 不法投棄多発場所に看板を設置するとともに、警察と連携し不法投棄者の特定する。			

事務事業評価の結果（1 次）	B	R04 年度の計画額	1,957	千円
事務事業評価の結果（2 次）	B	R04 年度の上限額	1,957	千円
<特記事項> R4年度においては、16件の不法投棄があり、うち9件はごみ集積所に投棄されました。衛生監視員とも連携を取りながら、原因者が特定できるものについては、直接指導を行い不適正排出を抑えていきたい。また、町内の不法投棄の巡回、回収及び運搬作業を委託し、町内を綺麗に保つことで、不法投棄を行いにくい環境を維持したい。				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 一評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 4 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	10010000	水道環境課・環境係		
大 事 業 C D	02	(目標)		-				中事業 C D	18	(施策)		-			
		(政策)								(主要な取り組み)					
小 事 業 C D	02	可燃・不燃ごみ処理経費					事業年度	R03 ~ R12	成果目標	■ 成果目標がある		成果指標	可燃ごみ排出量		
款項目	04	衛生費	02	清掃費	02	ごみ処理費	小事業区分	新規・継続		□ 成果目標がない		目標値	385	目標年度	令和 2年度

(単位：千円)

	R O 4 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(03 年度) 当初予算額	02年度 決算額
○ 経 費 計	78,252	ごみ（可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみ）収集袋、粗大ごみシー ルを作製する。	77,969	81,921
1 報酬		ごみ収集袋・粗大ごみシーンを町内外の店に委託して販売し、 販売手数料を支出する。		
2 ～4給料手当等		ごみ（可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみ・粗大ごみ）の収集運搬 、陶磁器類の処理を、一般廃棄物収集運搬業者に委託して実施 する。		
5 災害補償費		より、ごみ分別を周知するため、アプリを活用し、それに係る アプリ使用料を支出する。	4,345	4,406
7 報償費		ごみ（可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみ・粗大ごみ）を処理する 可茂衛生事務組合の運営に対する負担金を支出するとともに、 陶磁器類の最終処分地である伊賀市に負担金を支出する。	4,345	4,406
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費	2,271			
1 消耗品費	2,271			
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費	730		812	908
12 委託料	24,082		21,506	25,810
13 使賃料	424		424	99
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交	50,745		50,882	50,698
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	78,252	基準額・補助率・歳入科目コード等	77,969	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財	13,729		14,510	
5 一般財源	64,523		63,459	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★7次総 4208】（廃棄物対策）「地域における清掃活動の促進」	
可茂衛生事務組合の運営に対する負担金を支出するなど可燃・不燃ごみ等の一般廃棄物の適正な処理を図る。	
事業の概要	
町内で発生する一般廃棄物の処理に関する経費（可茂衛生負担金及びごみ袋作成、運搬委託料等）を支出する。	
事業の実績	
令和4年度	可茂衛生施設利用組合負担金 50,516千円
令和3年度	可茂衛生施設利用組合負担金 50,637千円
令和2年度	可茂衛生施設利用組合負担金 50,280千円
令和元年度	可茂衛生施設利用組合負担金 52,805千円
平成30年度	可茂衛生施設利用組合負担金 49,141千円
平成29年度	可茂衛生施設利用組合負担金 61,016千円
平成28年度	可茂衛生施設利用組合負担金 59,168千円
平成27年度	可茂衛生施設利用組合負担金 63,578千円
事業の成果指標	
1人あたりの1日の生活系可燃ごみ排出量	
事業の目標値	
単位	g/日
R04 年度末	420
R05 年度末	415
R06 年度末	410
R04年度の到達目標（課題・改善策等）	
可茂衛生事務組合の運営に対する負担金を支出するなど可燃・不燃ごみ等の一般廃棄物の適正な処理を図る。	

事務事業評価の結果（1次）	－	R04年度の計画額	78,252	千円
事務事業評価の結果（2次）	－	R04年度の上限額	78,252	千円
<特記事項>				
可燃ごみの1人1日あたりの排出量は、前年度比で5g減少しておりますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、ワークスタイルやライフスタイルが変わり、自宅過ごす時間が増えたためごみの排出量は近年増加しております。今後、坂祝町一般廃棄物処理基本計画に基づきプラスチック類の回収も検討し、リサイクル可能な資源物回収促進を推進し、ごみの減量化を進めたい。				
【評価】 A拡充・重点化 B計画の承認 C見直し・縮小 D整理・統合 E休止・廃止 一評価なし				

会計区分	01	一般会計		令和 4 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	10010000	水道環境課・環境係		
大 事 業 C D	51	(目標)		-				中 事 業 C D	35	(施策)		-			
		(政策)								(主要な取り組み)					
小 事 業 C D	20	上水道事業会計繰出金					事業年度	R03 ~ R12	成果目標	■ 成果目標がある		成果指標	上水道耐震化率		
款項目	04	衛生費	01	保健衛生費	06	環境衛生総務費	小事業区分	新規・継続		□ 成果目標がない		目標値	55.91	目標年度	令和 2年度

(単位：千円)

	R 0 4 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(03 年度) 当初予算額	02年度 決算額
○ 経 費 計	0		120	18,070
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費				
1 消耗品費				
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料				
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購		【主要施策5301】		
17 備品購入費		R 4 年度においては、延長346.3mの基幹管路の耐震化を行った。今後 R6年度までに補助事業を活用しながら約35%の基幹		
18 負補交		管路の耐震化を計画しているが、その後は、現在のところ補助		
19 扶助費		事業のメニューがないため、財源の確保が課題となるため今後		
20 貸付金		、水道ビジョンの見直し等を行い、水道事業の安定的な運営を		
21 補てん賠		を行い、地震災害時に備え配水管の老朽管の更新に合わせて、補		
22 償利割		助事業を活用を模索しながら耐震化を進め、ライフラインを確		
23 投資出資金		保する。※上水道耐震化率について精査した結果、間違いがあ		
24 積立金		ったため修正		
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金			120	18,070

○ 財 源 計	0	基準額・補助率・歳入科目コード等	120	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源			120	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★ 7次総 5301】（上水道・下水道）「上水道施設の整備・維持管理」			
公営企業会計（水道事業）の円滑な運営を図る。			
事業の概要			
公営企業会計（水道事業）への繰出金を支出する。			
事業の実績			
事業の成果指標			
基幹管路における耐震管の割合		事業の目標値	
		単 位	%
		R04 年度末	29
		R05 年度末	32
		R06 年度末	35
R04 年度の到達目標(課題・改善策等)			

事務事業評価の結果（1 次）	B	R04 年度の計画額	0	千円
事務事業評価の結果（2 次）	B	R04 年度の上限額	0	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 ー 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 4 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	10010000	水道環境課・環境係		
大事業 C D	51	(目標)		—				中事業 C D	37	(施策)		—			
		(政策)		—						(主要な取り組み)		—			
小事業 C D	20	不法投棄ごみ処理経費					事業年度	R03 ~ R12	成果目標	☐ 成果目標がある		成果指標	—		
款項目	04	衛生費	02	清掃費	02	ごみ処理費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない		目標値	—		目標年度

(単位：千円)													
	R O 4 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等					前年度(03 年度) 当初予算額	02年度 決算額					
○ 経 費 計	176						176	81					
1 報酬													
2 〜4給料手当等													
5 災害補償費													
7 報償費													
8 旅費													
9 交際費													
10 需用費													
1 消耗品費													
2 燃料費													
3 食糧費													
4 印刷製本費													
5 光熱水費													
6 修繕料													
その他													
11 役務費	76						76	65					
12 委託料	100						100	16					
13 使賃料													
14 工事請負費													
15 原材料費													
16 公財購													
17 備品購入費													
18 負補交													
19 扶助費													
20 貸付金													
21 補てん賠													
22 償利割													
23 投資出資金													
24 積立金													
25 寄附金													
26 公課費													
27 繰出金													

○ 財 源 計	176	基準額・補助率・歳入科目コード等	176	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	176		176	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）

不法投棄されたごみの処理により、ごみの無い清潔なまちへの推進する。

事業の概要

不法投棄されたりサイクル家電及び自動車部品等の処理経費を支出する。

事業の実績

令和4年度 家電 品目 台
令和3年度 家電4品目7台
令和2年度 家電4品目20台
令和元年度 家電4品目5台
平成30年度 家電4品目6台
平成29年度 家電4品目11台
平成28年度 家電4品目12台
平成27年度 家電4品目11台

事業の成果指標

事業の目標値

単位
R04 年度末
R05 年度末
R06 年度末

R04年度の到達目標（課題・改善策等）

不法投棄されたごみの処理により、ごみの無い清潔なまちへの推進する。

事務事業評価の結果（1 次）	B	R04年度の計画額	176	千円
事務事業評価の結果（2 次）	B	R04年度の上限額	176	千円
<特記事項>				

【評価】 A拡充・重点化 B計画の承認 C見直し・縮小 D整理・統合 E休止・廃止 ー評価なし

